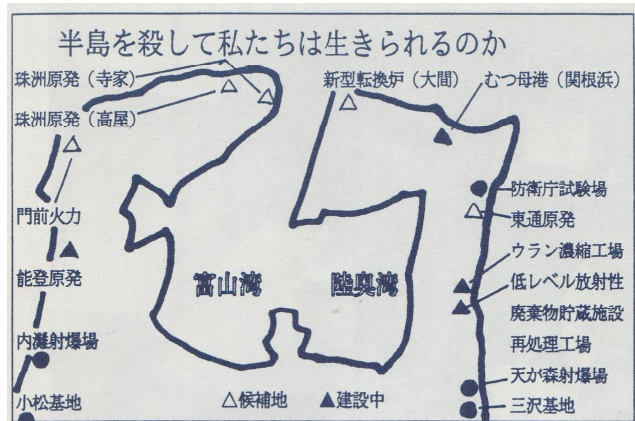


珠洲原発は建てさせなかった

志賀原発は東日本大震災以後、稼働してなかった

生・労働・運動ネット富山
反原発市民の会・富山

「反原発市民の会・富山」は能登半島に「原発を建てさせない」と富山から能登半島に通った。80年代～00年代と続く反対運動で、珠洲原発は建てさせなかった。志賀原発は稼働してなかった。



半島を殺して 私・たちは生きられるのか

建てさせなかった珠洲原発

用地買収に失敗した電力3社、粘り強い反対運動で原発計画をはね返す

76年1月 北電、中電、関電三社が珠洲原発構想を発表。

現地原発反対運動に、富山から能登半島に通う。

78年10月 珠洲原発反対チラシ配布に「富山」から参加。

80年4月 珠洲原発・能登原発に反対する「原発を許さない県民の集い」を開催。

82年8月 「反原発市民の会・富山」が「反原発石川県民の会」とともに、現地の人の協力をえて、珠洲市小泊・寺家にも看板をたてる。

12月 「反原発市民の会・富山」、石川県民の会とともに第2回反原発北陸交流集会開催——能登・珠洲の人たちが多数参加。

85年8月 「反原発市民の会・富山」、能登ー富山をつなぐ反原発能登一周キャラバン「能登半島に原発はいらない」を行う。富山ー七尾ー珠洲ー輪島ー富



反原発能登一周キャラバン
禄剛崎にて

来—志賀—羽咋—富山と一周する。

89年 5月 関電による原発立地のための事前測量調査。

それに対し、高屋地区反対派住民は現地で30日にわたり反対行動、珠洲市役所で40日間の座り込みを行う。「反原発市民の会・富山」もこの座り込みに参加。調査は中断された。



高屋の事前測量阻止行動での代表はのよしこ

4月 「反原発市民の会・富山」、珠洲市長選に立候補した榎田準一郎さんを応援。

この市長選では、不正選挙の疑惑があり、反対派は石川県選管に異議申したて、96年5月、最高裁は不正を認定し、上告を棄却した。林市長は失職した。

96年7月 「反原発市民の会・富山」、やり直し珠洲市長選に立候補した榎田準一郎さんを応援。



榎田準一郎さんを応援
左から塚本さん、代表はのよしこ

00年5月 「原発用地買収で不正 買収不能」

清水建設は買収した用地を他の企業に転売して、

1200万円の利益を得た。95年～98年に企業5社が自民党石川県第2選挙区支部・当時の森首相の資金団体に784万円を献金していた。

03年12月 電力3社が「産業構造の変化と電力需要の低迷」を理由に、
珠洲市長に 珠洲原発の計画凍結を申し入れた。

東日本大震災以後 稼働してなかった志賀原発 粘り強い反対運動 北電の安全管理能力欠如

67年7月 北電、志賀町・富来町に「能登原発」原発立地計画発表。

70年2月 富来町福浦反対同盟。

71年3月 志賀町赤住に、赤住を愛する会、赤住船員会を結成。能登原発反対県民集会開催。

72年4～5月 赤住地区で原発立地に関する「住民投票」実施。石川県は開票させずに投票箱を破棄。

75年3月 北電、関係8漁協に「原子力発電立地等の調査に関する海洋調査協力要請。
赤住住民有志が予定地内の土地を共有地として登記。

81年3月 北電、志賀町に8000万円寄付。北電、海洋調査に同意した5漁協に6億8000

万円預託金出資。反対漁協を孤立化させる。

82年7月 石川県は、原発に反対していた西海漁協を孤立化させようと共同漁業区域の分割を画策する。その画策は失敗に終わった。

8月 「反原発市民の会・富山」が「反原発石川県民の会」とともに、志賀町赤住・富来町福浦・西海に反原発の大看板をたてる。

83年5月 「反原発市民の会・富山」が、能登の自然を守る土地共有者の会を、金沢の人々と協力して、石川・富山両県で会員を募り発足させる。原発建設予定地内に共有地をもつ。

北電は原発建設のための海洋調査に関する協定書を調査予定海域の南半分に関係する4漁協と秘かに調印（6・19）。補償金として1億2千万円を4漁協に支払う。**肩がわり調査**

合意できなかつた西海漁協とは、「漁業振興のため」と称して、北電ではなく**県が調査**することで合意。6億円を公費で全額負担。「反原発市民の会・富山」は、北電本社に抗議すると共に、西海漁協の臨時総会にかけつける。

7月 「反原発市民の会・富山」は、県が西海漁協と合意した「(北電の)**肩がわり海洋調査**」に対して、連続的な抗議行動を開始。

84年3月 「反原発市民の会・富山」、「能登原発反対各種団体連絡会」が開く石川県による海洋調査強行に反対する抗議集会に参加（上野港）。

86年9月 「反原発市民の会・富山」、第一次公開ヒアリング強行に反対する抗議行動に参加。

88年3月 「反原発市民の会・富山」、第2次公開ヒアリング強行に反対する抗議行動に参加。

8月 国 原子炉設置許可。

12月 志賀原子力発電所に名称変更

12月 「反原発市民の会・富山」、
現地で抗議行動に参加。



西海漁協付近でたてる



共有地前で



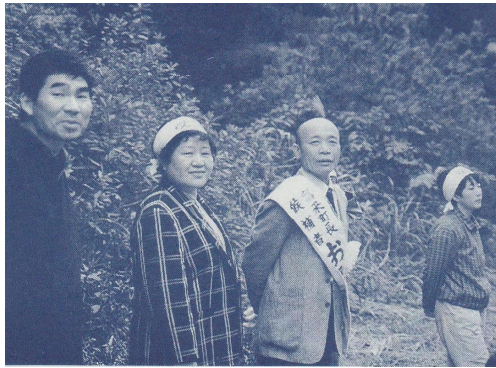
第1次公開ヒアリングで抗議する代表はのよしこ

87年10月 赤住を愛する会の橋たきさんを富山に招き、秋のミニ集会「赤住の部落がなくなる」をひらく。



赤住 橋たきさんを招いて

90年10月 「反原発市民の会・富山」、富来町町長選に立候補した沖崎信繁さんを応援。



沖崎さんを応援する
左から塚本さん、代表はのよしこ

91年5月 「反原発市民の会・富山」、志賀原発への初めての核燃料搬入監視抗議行動に前夜から参加。

－以後搬入時に抗議行動を続ける

11月 「反原発市民の会・富山」、志賀原発試運転に反対する抗議行動に参加。

93年5月 北電、2号機の建設を石川県・志賀町に申入。

7月30日 能登（志賀）1号機、営業運転開始の日に、赤住 橋さん宅を訪ねる。

99年3月 北電、2号機着手決定。

06年3月 北電、2号機営業運転開始。



営業運転開始日に橋さん宅を訪ねた市民の会のメンバー

初めての原発運転差し止め勝訴

1号機

88年12月 能登原発建設差止請求訴訟を金沢地裁へ提訴。（原告団100名）「反原発市民の会・富山」のメンバーも原告団に加わる。

94年8月 請求棄却 金沢高裁に控訴。98年9月 控訴棄却。最高裁へ上訴。00年12月最高裁で控訴棄却で敗訴確定。



右の二人は代表はのよしこと橋たきさん 金沢地裁前で

2号機

99年8月 金沢地裁に2号機差し止めを地裁に提訴。12月第1回口頭弁論に「反原発市民の会・富山」も意見陳述。06年3月15日 2号機営業運転開始。

06年3月24日 金沢地裁 2号機差し止め訴訟で原告勝訴

3月 北電控訴。09年3月 金沢高裁支部が逆転判決。最高裁へ上訴。
10年10月 上告棄却で敗訴確定。

**北電 原発稼働する資格なし
再稼働適合審査もすすめられない**

1号機も2号機稼働後 故障多発—「あってはならない」と謝罪だけ

89年11月 建設中にもJIS規格違反鉄筋使用発覚。 (以下主なもの)

93年7月 1号機、営業運転開始。

94年8月 原発再循環ポンプの故障。

99年6月 1号機で国内初の臨界事故発生。「公表すると2号機の工程が遅れる」として、日誌を改ざんし、国に報告せず。

臨界事故 大惨事一步手前 7年も隠蔽

03年1月 配管の水があふれ作業員にかかり被曝？。

05年4月 1号機送電用鉄塔が倒壊。1号機手動停止。

06年3月 2号機、営業運転開始。

9月 2号機の高圧タービン車室内に粒状金属を発見。

07年3月 定期検査時に**隠蔽発覚**。2号機停止。

くすぶる活断層疑惑

16年3月 活動性は否定できないと「活断層と解釈するのが合理的」とした有識者会合の報告を受理。廃炉？

23年3月 北電は「鉞物脈法」を用いた評価を提示。2号機の敷地内に活断層はないとした北電の主張を妥当と判断した。

2011年3月の東日本大震災以後、13年間営業実績なし

24年1月 最大級の地震が発生

志賀町 震度7、珠洲市 震度6強

再調査の実施を

能登半島地震で志賀原発敷地内の設備に想定外の被害多数発生。

規制委員会は、敷地外の活断層の評価をやり直し、敷地内の断層への影響調査を実施し、再調査の結果を報告する必要があると。

避難計画の破綻

能登半島地震で道路は寸断。港も利用不可。自宅全壊や避難所の機能不全が今でも続いている。自治体が立てた避難計画は実効性がない。

高屋地区円龍寺の住職で反対運動のリーダーだった塚本真如さんは「どこで何があるか分からん。本当に珠洲原発を止めて良かった」

(24年1月 東京新聞)



塚本さん

「皆の力があって（原発計画が）止まった。原発は必要ないという信念を持って頑張ってもらいたい」

(24年6月 「さよなら！志賀原発」の集会で)

私・たちはこれからどうするべきなのか…

生・労働・運動ネット・富山 反原発市民の会・富山

URL : <https://net-jammers.net/> E:mail : jammers.net.tym@gmail.com

住所 : 富山市神通町 3 - 5 - 3